統合小学校の校名は「寄居町立城南小学校」に決定！

城南中学校区の学校再編に伴い、令和10年4月に開校する統合小学校の校名は「寄居町立城南（じょうなん）小学校」に決定しました（校名を定める条例が令和7年6月議会で議決されました）。

～校名案の選定基準～

①親しみやすく、広く受け入れやすいこと
②読みやすく、分かりやすいこと
③歴史的または地理的なイメージが湧きやすいこと

▼選考過程

校名を公募
149点（50案）の応募
↓
統合準備委員会で検討
3つの案に絞り込み
↓
総合教育会議で
町長との意見調整
↓
教育委員会で
校名案を決定

校名募集にたくさんのご応募をいただきありがとうございました。

問 教育総務課（☎581・2121内線511）

就学援助制度について

町では、お子さんが町立小・中学校に就学し、経済的な支援を必要とする保護者の方に対して、就学費用の一部を援助しています。

▼対象

①『児童扶養手当法』による児童扶養手当を受給されている世帯（児童手当ではありませんのでご注意ください）
②令和7年度の町民税が非課税の世帯
③保護者の職業が不安定等の理由で、生活保護に準ずる程度にお困りの世帯

※このほかにも援助を受けられる場合がありますので、詳細はお問い合わせください。

▼内容

次の費用の一部

学用品費、通学用品費、修学旅行費、学校給食費、医療費、新入学児童・生徒学用品費・オンライン学習通信費

▼申請方法

申請は随時受け付けています。就学援助を希望される方は、教育総務課または各小・中学校を通じて申請をしてください。申請書は、教育総務課・各学校、町公式ホームページから取得できます。

※申請時期により認定する月や援助金額が変わります。

問 教育総務課（☎581・2121内線512）

開催します！「よりい週末有機農業塾」見学・収穫体験会

農業委員会では、町内で新たに有機農業に取り組みたいと考えている方、農ある暮らし、自給的な農業に興味のある方を対象に「よりい週末有機農業塾」を開催しています。同塾では、見学・収穫体験会を開催します。野菜の有機栽培を行う農地の見学や、収穫体験を通じて、農業を身近に感じてみませんか。

▼日時／8月24日(日)午前9時30分～（1時間程度）
※収穫体験は、野菜の生育状況により実施できない場合があります。
▼場所／東武東上線男衾駅近くの講師が管理する農地
▼対象／どなたでも参加できます。
▼定員／15人（申込順）
▼内容／塾の案内および有機栽培を行う農地の見学、野菜の収穫体験
▼費用／無料
▼申し込み／農業委員会事務局に備え付けてある申込書に必要事項を記入し、同事務局へお申し込みください。
※定員になり次第受付終了となります。
▼その他／収穫した野菜を入れる袋をお持ちください。

問 農業委員会事務局（産業振興企業誘致課内☎581・2121内線408）

夏のエコライフDAY・WEEK寄居

「夏のエコライフDAY・WEEK寄居」は、地球温暖化を防止するライフスタイルの実践に向けたきっかけづくりを行うためのキャンペーンです。専用のチェックシートを使用して、部屋を出るときは明かりを消したり、冷房を適切に使ったりするなどの環境に配慮した行動を行っていただき、それぞれの行動に応じた二酸化炭素の削減量を確認することができます。

キャンペーンに参加し、ご自身のライフスタイルを見直すきっかけにしてはいかがでしょうか。

▼実施期間／7月5日(土)～8月24日(日)
▼参加方法／インターネットによる参加となります。詳しくは、左記の二次元コードからアクセスしてください。また、町公式ホームページからもチェックシートのデータを入手いただけます。なお、紙のチェックシートは生活環境エコタウン課でも配布します。
▼提出期間／7月7日(月)～8月25日(月)
※紙のチェックシートで参加された場合は、期間内に生活環境エコタウン課へチェックシートをご提出ください。
▼その他／キャンペーンの結果は、9月下旬に町公式ホームページに掲載します。

問 生活環境エコタウン課（☎581・2121内線223・224）

町公式ホームページ

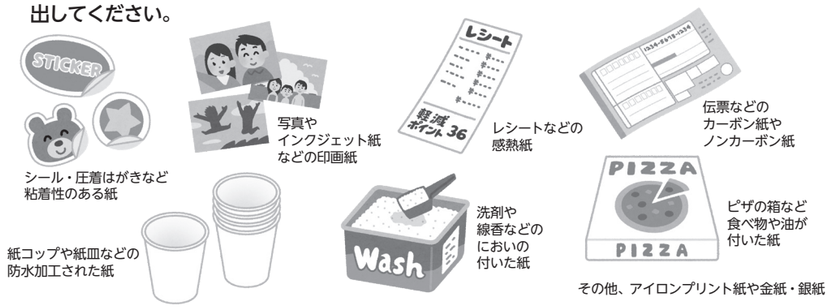
「雑がみ」は資源です！

雑紙は「可燃ごみ」ではなく「資源物」へ

普段、何げなく捨てている、メモ用紙、お菓子などの空き箱、トイレットペーパーの芯、封筒、包み紙等、多くの紙は「雑がみ」としてリサイクルできます。雑がみを「可燃ごみ」ではなく「資源物」として出すことで、燃やすごみの量が減り、二酸化炭素の排出削減、ごみ処理コストの削減と資源の有効活用ができます。

雑がみとして出せない紙

加工された紙、汚れやにおいの付いた紙は、リサイクルの妨げになりますので「可燃ごみ」へ出してください。



※ティッシュやアルミホイルの空き箱等は、付着しているビニールや金属類を分別してから出しましょう。

雑がみの出し方

○大きさがそろっている場合
ひもで十字に縛って出す。

○大きさが不ぞろいの場合
紙袋に入れて、飛散しないようにひもで縛って出す。

※紙製の箱に入れて出す場合は、ふたが開かないようにひもで縛って「雑がみ」と書いて出す。

ごみの減量化・再資源化は、まず始めることが大切です。

雑がみの分別を始めると、可燃ごみの量が減っていくことを体感できると思いますので、徐々に習慣づけていけるよう、今日から分別を始めてみましょう。

問 生活環境エコタウン課（☎581・2121内線221・222）

私たちにできる取り組み　ストップ地球温暖化！

現在、世界各国で温暖化が進行しており、寄居町も例外ではありません。対策を取らない限り、進行し続けるのが地球温暖化です。

私たちだけでなく、子どもたちが将来も安心して暮らせる持続可能な社会を目指し、地球温暖化対策を人任せにするのではなく、一人一人が継続して取り組むことがとても大切です。

地球温暖化が進むとどうなるのか？

地球温暖化は、私たちの活動に伴って排出される二酸化炭素などの温室効果ガスが増えることが原因で、異常気象の増加や生態系へ大きな影響を及ぼします。このまま地球温暖化が進むと、今世紀末には日本の猛暑日が年間で約23日も増えるという予測もあり、私たちの日常生活にさらに支障をきたすおそれがあります。

誰でもできる温室効果ガスの削減

①省エネ対策

子どもからお年寄りまで、今日から簡単にできる取り組みが省エネ対策です。省エネにより、発電で使われる石油、石炭、天然ガスなどのエネルギー消費量を減らして、温室効果ガスの排出量を抑えることができます。

「夏のエコライフDAY・WEEK寄居」に参加し、どのくらい温室効果ガスを削減できるかチャレンジしてみましょう。

②ごみの減量化と再資源化（リサイクル）

ごみの減量化と再資源化は、地球温暖化対策につながる大切な取り組みです。ごみの量を減らすことで、収集運搬車両や焼却施設から排出される温室効果ガスの量を抑えることができます。また、ごみの再資源化は、資源の有効利用となり、新しい製品を作るためのエネルギー消費を減らすことで、地球温暖化対策に貢献できます。

ごみを減らすための具体的な取り組み

■必要なものだけを買う（リデュース）
○レジ袋を買わずにエコバックを持参しましょう。
○使い捨て商品の購入は控えましょう。

■物を大切にする（リユース）
○繰り返し使えるものを選びましょう。
○不要になったものをフリマサイトなどへ出品しましょう。

■資源の有効活用（リサイクル）
○缶、ビン、金物類、ペットボトル、紙類、布類等、資源物を分別しましょう。

■食品ロスの削減
○コンビニやスーパーなどでは、陳列棚の手前から取って買いましょう。
○食べ残しをなくしましょう。

誰でもお金を使わずに始められる「省エネ」と「ごみの減量化・再資源化」で、今日からあなたも地球温暖化対策に参加しましょう。

問 生活環境エコタウン課（☎581・2121内線221・222）